

上坊所地区青少年サポートパトロールの会（KSSP）（佐賀県）

活動地域

上坊所地区青少年サポートパトロールの会、代表の重松でございます。本日はこういう機会を与えていただき、ありがとうございます。

まず、私たちの町についてご紹介を致しますけれども、佐賀県三養基郡上峰町は、佐賀県の東部に位置しております。北側が丘陵と台地、南側が平野となっており、南北およそ 12.5 キロメートル、東西 1 キロメートルの帯状

の町でございます。その姿は、さも剣が天に向かってるように見えます。平成元年に町制が施行され、以前は農業を主な産業としておりましたが、現在は工場の誘致、住宅政策の振興を図り、農工併進の町となりました。町の人口は約 9,600 人で、その中でも私たちが活動している上坊所地区は、人口 641 人、世帯数 211 世帯となっており、町の中心部に位置しております。

当地区には役場、町民センター、ふるさと学館、すば一く上峰、小中学校、幼稚園、保育園、郵便局、JA 上峰支所、病院など、全ての公共施設が存在し、名実ともに素晴らしい環境の下にあります。私ごとでございますけれども、平成 17 年に区長職をあずかり現在に至っております。



団体の概要

次に、団体の概要について説明致します。平成 15 年に上峰町は、「大人が変われば子どもも変わる」をスローガンに、「あいさつ日本一運動」を展開しました。わが上坊所地区は平成 16 年 2 月、青少年健全育成を目的とした青少年サポーターとして、町が設置した「地域のおじちゃん」に対して地域活動を奨励いたしました。

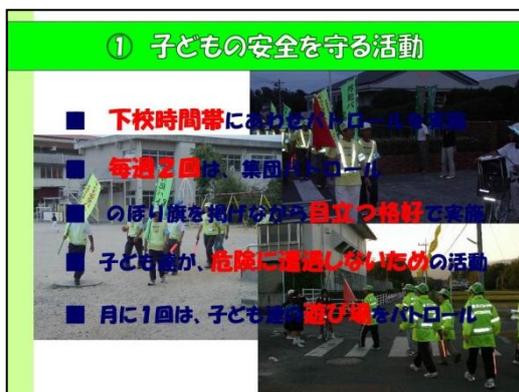
私たちは、生まれ育った上坊所地区をより安全で安心な地区にするために、地域が一丸となった自主的な防犯活動組織作りの先陣を切りたいと考えました。そこで地域住民に呼び掛けまして、警察や自治体の協力の下、平成 16 年 3 月に上坊所地区青少年サポートパトロールの会を発足いたしました。発足会には、地区の住民 66 人が参加しました。これが自主的な立ち上げだったこと、すなわち自分たちで旗揚げができたことに大きな意義があったと感じている次第でございます。



また、活動の目的を明確にしておくために、規約を制定し、地域の子供は地域で守り育てるをスローガンに、青少年健全育成と安全・安心で犯罪のない地域づくりを目指しています。現在、メンバー約40人、平均年齢は約65歳。定年退職者と主婦が中心となり活動をしている現状でございます。何よりも大切にしているのは、あいさつであります。まずは元気なあいさつからをモットーに防犯意識の高揚と連帯感の強化を図っております。平成17年には、警察の指導の下、警察庁から地域安全安心ステーション推進事業の実施地域に指定され、さらなるやる気へとつながりました。

活動の概要

次に活動の概要です。普段の活動として、主に次の五つがあります。子供の安全を守る活動、地域の環境美化活動、各種防犯広報活動、夜間の警戒パトロール、青少年健全育成を目的とした地域活動であります。では、それぞれについて説明をしていきます。



まず、子供の安全を守る活動についてです。私たちは、活動スケジュール表に基づきまして、毎週火曜日と金曜日の週2回、小中学校の下校時間に合わせ、通学路において、子供の見守り活動を行っております。活動のスタイルは写真のとおりで、ベストに帽子を着用して、のぼり旗を先頭にリーダーが約40分間ほど、徒歩で通学路を巡回しています。子供たちは、巡回の折りにあいさつをしてくれます。当初は、あいさ

つがないために、隊員も戸惑い、嫌みを言う人もおりました。しかし、地道に声掛けやあいさつをしながらパトロールしていると、自然に皆さんから「ご苦労さん」などと笑顔で返ってまいります。それが何よりの励みでございます。特に、子供たちは、変質者に遭遇したら大声も出せず、逃げることもできないという話をよく聞いておりますけれども、危ない思いをすることがないように、こういう目立つ格好で見守り活動を実施しています。また、月に1回は日曜日に子供たちが遊ぶ公園など危険箇所のパトロールも行っております。

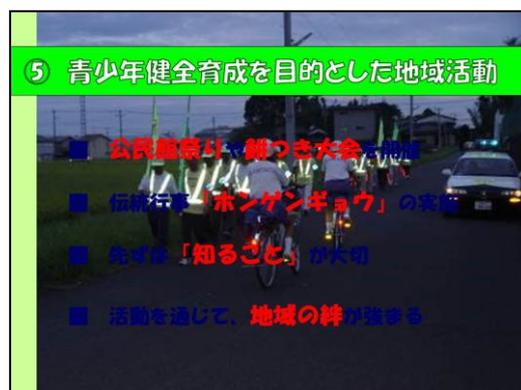
地区の環境美化活動は、子供の安全を守る活動とあわせて行います。パトロールコースに不法投棄とか、ゴミがそのまま捨てられているのを発見することが数多くありましたので、隊員が何気なく環境美化にもつながるんじゃないかという思いでゴミ拾いを始めたところ、段々そのゴミのポイ捨てが少なくなってきました。ゴミのポイ捨てという小さ



なことですけれども、ルールを守ることの積み重ねが大事だと認識しております。この地道なゴミ拾いも防犯につながるものではないかと思っております。



することができました。やはり若い人たちが参加してくれると雰囲気明るくなりますし、モチベーションが上がり、次も頑張ろうという気持ちにさせてくれました。本当に感謝しております。



リエーションをしました。子供たちはドッジボールとかバレーボールを楽しみまして、大人はグラウンドゴルフをしました。午後は一堂公民館に集まって、約120人でしたが、子供たちを含めた老若男女が食事しながら会話を重ねました。いろんな話ができる、これが青少年の健全育成につながるような気がしております。

各種防犯広報活動ですが、近隣地区の防犯ボランティアや商工会青年部、高校生の防犯ボランティア等と一緒に広報活動を行っております。先月25日は、鳥栖市のベストアメニティスタジアムでサッカーJ1の試合前に、振り込め詐欺等による被害防止を目的とした広報活動を行い、婦人会や大学生防犯ボランティアにも参加してもらいました。炎天下でしたが、若い力をもらいながら楽しく広報することができました。

夜間の警戒パトロールも大切な活動です。気が付けば、至る所にできたコンビニや24時間営業の飲食店は少年たちのたまり場になりやすいものです。そこで、私たちは、年末警戒にあわせて集団での夜間パトロールを行っております。また、個別に隊員が犬の散歩やウォーキングを兼ねて周辺をパトロールしております。

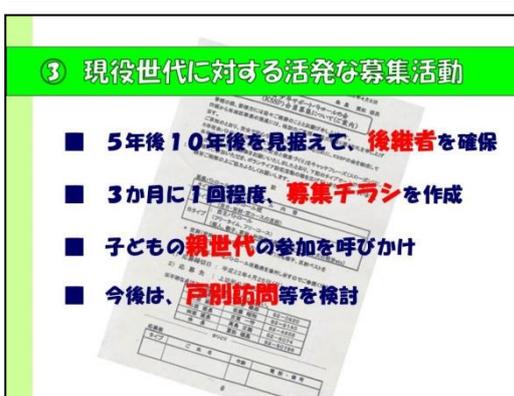
最後は、団体名のと通りの青少年健全育成を目的とした地域活動です。私たちは、地域の子供は地域で守り育てることが大切であると考えております。そのため、少しでも子供たちと地域の大人たちが触れ合う機会を増やそうと工夫しています。例えば地区を挙げての公民館祭です。公民館を新築してちょうど今年で8年目を迎えますけども、午前中は小学校のグラウンドと体育館をお借りしてレク

地区では、このほかにも年の初めに神社において、無病息災を願う「ほんげんぎょう」というお火たき行事をしております。地域のコミュニケーションを図るためには、私はお互いを知ることが一番大事だと思いますし、我々地区の役員としては、いかに皆さんが集まる場所作りができるかが重要なことだと認識しております。

活動の活性化方策については、三点取り組んでおります。まず懇親会の開催です。会員の融和と親睦を図り、結束を深めるため、年に数回懇親会等を開催し、フリートークの中で、会員同士の防犯に関する意見交換を積極的に行っています。団体の活動費については、上坊所地区の区費から年間5万円と、上峰町から活動助成金として年間2万4,000円をいただいています。ただ、懇親会費は会費制にしてみんなで楽しんでいます。

自治体、他団体との情報交換等による連携及び防犯活動の促進にも取り組んでいます。それぞれの団体は小さくても、まとまれば大きな組織となり、活動の幅が広がります。それを実現するため、平成22年に私たちの地域を管轄する鳥栖警察署管内の防犯ボランティアの25団体が一堂に会し、「鳥栖市三養基地区防犯ボランティア連絡協議会」が組織されました。連絡協議会は定期的開催し、各団体の活動報告がなされます。我々の活動をより進歩させるために、他団体の取組みを参考にさせていただいています。

現役世代に対する募集活動も活発に展開しています。5年後、10年後を見据えて頼もしい後継者を1人でも多く確保するため、3か月に1回程度、募集用のチラシを作成し、地区内全校に配布して現役世代である子供たちの親世代の参加を呼び掛けております。今後は子供クラブや老人クラブ、分館等の会議にも積極的に参加し、個別訪問等も重ねながら、募集活動を行っていきたいと思っております。



活動の効果と今後の課題

このような地道な活動を評価いただきまして、平成18年には佐賀県犯罪のない安全で安心な地域づくり功労団体として、知事感謝状をいただきました。翌年には、全国防犯協会連合会長から功労ボランティア表彰を受賞しました。また、平成19年には、佐賀県知事及び県警本部長が私たちの活動の様子を視察に来られました。そのときは、隊員一人一人に声を掛けていただきました。このような表彰や知事訪問などは、私たちにとって大きな励みとなっております。これまでの活動を通じ、最近では変化が見られるようになりました。

例えば、活動を始めた頃とは違い、子供たちが自らあいさつをしてくれるようになりました。また、地元の小中学生から、私たちの活動に対する感謝の手紙をいただくようにもなりました。小学校グラウンドをパトロールしているときは、少年野球の練習中に子供たちが一斉に脱帽をして、あいさつをしてくれるようにもなりました。これらは、子供たちの保護者等による指導があるからだと思います。その保護者たちは、私たちの活動を理解して認めてくれているからこそ、子供たちに指導してくれているものではないかと思います。私たちは、そのようなときに、地域の絆が醸成されていると感じられ、喜びを感じております。

平成23年12月からは、我々の活動が町議会でも話題となり、町議会議員10人全員も月に1回町内全域で安全パトロールや危険箇所の点検を実施するなど、町の安全・安心を守る活動に参加していただいています。

今後は、活動の幅を広げるため、防犯だけでなく、自主防災に関する取組みについても計画をしております。これまでに築いてきた地域の連携をさらに深め、この上坊所地区の活動を町全体に、さらには県全体に広めていきたいと考えております。そのためには、やはり、自治会や警察の協力は不可欠です。これまで以上に連携を取りながら、地域の子供は地域で守る、地域で育てるのスローガンの下、継続は力なりをモットーに隊員が一丸となりコミュニケーションを密にし、共通認識を持ち、気負わず焦らず無理せず、さらなる活性化を図っていきたいと考えております。最後までご清聴ありがとうございました。



質疑応答

●質問 若い力を活用していくためには、今後どのような雰囲気作りをしていったらいいのでしょうか？

○回答 先ほど発表の中に申し上げましたとおり、我々の地区には、区以外に大きな3団体があります。一つは老人クラブ、それと子供クラブ育成会、それに分館という団体があります。若い世代というと、要するに小中学生あるいは幼児・乳児の保護者だと思います。積極的に、子供クラブ育成会の催しものとか、あるいは会議に足を運んで、自主防犯活動がいかに必要であるかを、保護者の皆さんに呼びかけていこうと思います。と同時に、私はいま、211世帯全てに面識があります。これは私にとっては大きな財産ですので、これを生かしていきたいと思っております。